

# 小町の郷 ガイドマップ

小野小町は、情熱的に詠んだ恋の歌が特徴で六歌仙、三十六歌仙に数えられ、世界三大美人ともいわれる美貌と知性を兼ね備えた平安時代の有名な歌人です。その生涯の多くは謎に包まれているようですが、ここ湯沢市小野地区では古くから小町生誕から終焉までの様々な伝説が語り継がれています。小町が残した歌の世界に想いを馳せて散策すればいにしへの小町に出会えるかもしれません。

花の色は移りにけりないたづらに  
我が身世にふるながめせし間に



佐竹本三十六歌仙複製絵巻 (土屋秀禾作: 秋田県立図書館所蔵)  
佐竹本三十六歌仙絵巻は、鎌倉時代に描かれたとされるわが国最古の歌仙絵巻です。「万葉集」から平安時代中期までの歌人三十六人の肖像画と代表歌が上下2巻の巻物に描かれています。

## 平安の時を偲び語り継がれる 小町伝説

小野小町は出羽国福富の荘(現在の湯沢市小野字桐木田)に生まれ、晩年は岩屋堂で世を避け、香をたきながら一人自分の像を刻み92歳で生涯を閉じたという伝説と遺跡が地域の人々により語り継がれ大切に守られています。

### 平安時代 (西暦 794年~1192年)

年号(西暦)	事項
大同 2年 (807)	小野良実(小町の父)が京の都から出羽国雄勝郡福富の荘桐の木田にやってくる ※熊野神社は小野良実が建立
大同 4年 (809)	小町誕生(幼少名を比古姫) このとき産湯をつかったのが桐木田の井戸 小町の母 大町子が亡くなる 姥子石は小町の母の墓
弘仁 13年 (822)	13歳の時、良実が都に戻ることになり、小町も一緒に都に上る
天長 2年 (825)	16歳の時、宮中に仕える
承和 12年 (845)	36歳の頃、生まれ在所が恋しくなり出羽国福富荘に戻る <b>深草少将</b> 小町の後進い、長鮮寺を仮住まいとする 御返事橋のたもとで小町に恋文を送る 百夜通いが始まる 小町塚に芍薬を植える <b>小町</b> 疱瘡を患い蔵前神社の小町泉で洗い清める 深草の少将の亡骸を二ツ森に葬る 深草の少将の供養板碑を長鮮寺(現在は桐善寺に移設)に建立 谷世を離れ岩屋堂にこもり、香を焚き、自像を刻む(木製の自像は小町の菩提寺とされる向野寺で所蔵)
昌泰 3年 (900)	92才の生涯を閉じる 小町辞世の歌 いつとなく かへきはやなん かりの身の いつつのいろも かはりゆくなり 里の人たちが小町を哀れみ亡骸を深草少将が眠る二ツ森に葬る

見どころ、楽しみ方を心を込めてご案内します。  
お気軽にお申込みください。  
**雄勝観光ガイドの会** (有料 1時間1,000円~)  
お問合せ先/観光交流拠点施設 TEL・FAX:0183-52-5500



**小町まつり**  
市内から選び抜かれた七人の小町娘が、小野小町の詠んだ和歌を朗誦し小町堂に奉納します。芍薬の花香る6月第2日曜日に開催されます。

**小町の郷 観光交流拠点施設**  
観光と特産物の情報発信地。小町の座像のほか、小町伝説にまつわる遺跡をジオラマで紹介するなど、小町の郷ならではの情報を提供。また、直売所では地元の特産物をお買い求めいただけます。加工研修センターも併設しています。

**小町の郷公園**  
「小町伝承」をテーマに平安朝様式を取り入れた公園を整備。小町ゆかりの施設などがあり、麗しい伝承にふれながら花々に包まれた散策を楽しめます。平成27年度オープン。



ジオパークとは歴史文化等の伝統的価値も踏まえながら、地球や大地を楽しむ自然公園を意味し、地球を丸ごと考える場所、それがジオパークです。  
湯沢市は平成24年に「日本ジオパーク」の認定を受け、市内全域をカバーする16箇所をジオサイトとしています。

観光についてのお問合せは  
**湯沢市観光・ジオパーク推進課**  
〒012-8501 秋田県湯沢市佐竹町1番1号  
TEL:0183-73-2111  
ホームページ <http://www.city-yuzawa.jp>  
発行:湯沢市企画課



# 小町の郷ガイドマップ

じっくりと満喫するもよし、気軽に散策するもよし。  
小町の風に吹かれ、歴史浪漫を感じてみませんか。

**じっくり満喫コース** 車で約3時間

- スタート 観光交流拠点施設
- 1 ニツ森
  - 2 小町堂・芍薬塚
  - 3 桐木田の井戸
  - 4 姥子石
  - 5 御返事
  - 6 長鮮寺跡・桐善寺
  - 7 小町泉(磯前神社)
  - 8 向野寺
  - 9 熊野神社
  - 10 岩屋堂

**お気軽散策コース** 徒歩で約1時間

- スタート 観光交流拠点施設
- 1 ニツ森
  - 2 小町堂・芍薬塚
  - 3 桐木田の井戸
  - 4 姥子石



**1 ニツ森** 所在地: 湯沢市小野字ニツ森

小町と深草少将が眠る場所

その昔、ニツ森の一带は役内川が氾濫を繰り返し、岩山が残って多くの小さい島のようななり、この地域は八十島と呼ばれていました。現在のニツ森は、男森が深草少将の墓で、女森が小町の墓といわれています。

**3 桐木田の井戸** 所在地: 湯沢市小野字桐木田

小町が産湯をつかった井戸

この井戸は真上から見ると自然石が5角形に組まれており、これは都を中心に多く見られた形です。昭和47年、大学教授により「平安初期に創掘されたもの」と鑑定された貴重な遺跡です。

**5 御返事(御返事橋)** 所在地: 湯沢市桑崎字御返事

深草少将と小町が文を交わしたところ

小町を追って小野の地にやって来た深草少将は、御返事橋のもとに住む姥に頼み小町に恋文を送り、想いを伝えました。その返事を待っていたのが「御返事」といわれています。

**7 小町泉(磯前神社)** 所在地: 湯沢市桑崎字堂ノ前

小町が顔を洗い清めた泉

痲痘を患った小町は、磯前神社の傍にある寺田山薬師如来の社を毎日訪れ、清水で顔を洗い、早く治るようにと祈りました。この泉は現在は見られませんが、神社内に池のような跡が残っています。

**8 向野寺** 所在地: 湯沢市小野字小野

小町の菩提寺

小町の菩提寺といわれる向野寺には「小野之小町自作霊像安置所」と書かれた石碑があり、晩年小町が彫ったとされる木彫りの像が安置されていますが通常は公開されていません。観光拠点施設にレプリカを設置しています。

**9 熊野神社** 所在地: 湯沢市小野字小野

小野良実が建立した神社

小町の父、小野良実が建立したもの。支神が二柱あり、一社は牛頭天王を祀り、一社は小町が幼少の頃より詠んだ歌を封じて建てたもので詠歌堂とも呼ばれていました。現存のものは寛文12年(1672)に寛慶院によって再建されたものです。

**10 岩屋堂** 所在地: 湯沢市小野字別水林

小町が晩年を過ごした庵

小町が晩年、世を避けて住んだといわれる広さ20畳程の場所で、岩には鴨居や敷居の跡が見られます。小町はここで香を焚きながら自像を刻み、92歳でその生涯を閉じました。



**2 小町堂・芍薬塚** 所在地: 湯沢市小野字小町

小町を偲ぶ御堂と百夜通い伝説

小町堂は小町を奉る御堂として、昭和28年に建てられ、現在の小町堂は平成7年に建て替えられたものです。芍薬塚は、深草少将が蓬瀛を夢見て芍薬を99本植えて亡くなったという悲話が残る場所で小町堂付近といわれています。

**4 姥子石** 所在地: 湯沢市小野字桐木田

小町の母の墓地

小町の母・大町子は村長の娘で、郡司・小野良実と結婚しましたが、小町が幼い頃に亡くなってしまいました。自然石には梵字が刻みこんであり、小町の母の墓地、墓碑として伝えられています。

**6 長鮮寺跡・桐善寺** 所在地: 湯沢市桑崎字平城

深草少将の仮住まいと板碑

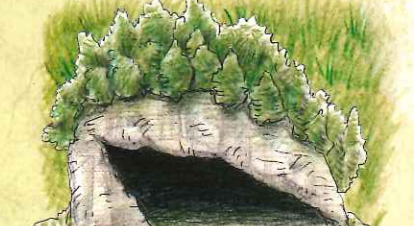
長鮮寺は深草少将が仮住まいしていたところです。その後、亡くなった深草少将を供養するため小町は長鮮寺に大きな板碑を建立しますが、いつの頃から平城の桐善寺に移されました。



**10 岩屋堂** 所在地: 湯沢市小野字別水林

小町が晩年を過ごした庵

小町が晩年、世を避けて住んだといわれる広さ20畳程の場所で、岩には鴨居や敷居の跡が見られます。小町はここで香を焚きながら自像を刻み、92歳でその生涯を閉じました。



**10 岩屋堂** 所在地: 湯沢市小野字別水林

小町が晩年を過ごした庵

小町が晩年、世を避けて住んだといわれる広さ20畳程の場所で、岩には鴨居や敷居の跡が見られます。小町はここで香を焚きながら自像を刻み、92歳でその生涯を閉じました。